

第 11 号

平成12年1月20日発行



REPORT

JAPAN SPORTING GOODS RETAILER

編集：日本スポーツ用品協同組合連合会

日本スポーツ用品協同組合連合会

発行：日本スポーツ用品協同組合連合会

〈2000年スローガン〉  
スポーツで築こう21世紀への教育 — 知育・徳育・体育 —

## 2000年、それは「JSR」の 新しいスタート台に 立ったところです。



日本スポーツ用品  
協同組合連合会

理事長 辻本昌孝

新年明けましておめでとうございます。新しい年、2000年を私達の年に致しましょう。「日本スポーツ用品協同組合連合会」はこのような大きな節目に創立され動き始めました。

この「JSR」は出来たばかりであります。この「JSR」の土台は「全運小連」40年の歴史によって支えられております。素晴らしい諸先輩が築いてくださった歴史を汚すこと無く、この2000年から一步一步新しい歴史を刻んでゆきたいと思っております。

そして、「JSR」としてやりたい事業は沢山ありますが、まず第1に、所属員の為に成ることを推進する。今小売の環境は大変厳しいものとなっております。その中で小売店がやっていける環境づくりを推進したい。

### \*大型店問題

1000坪、2000坪と言う巨大な店の出店が各地で問題となっている。この件は取引条件が「差別対価」にひかからないか、疑問に思う。メーカーにとっても大型店を育てるばかりでなく、小さな専門店を育てる政策を打ち出してほしい。

### \*ファクトリーアウトレット

アメリカンスタンダードと言うことでファ

クトリーアウトレットが脚光を浴びている。アメリカのファクトリーアウトレットは州境の辺地にあり、日本のそれは町中（まちなか）のショッピングセンターでメーカー直売をやっているようなものだ。

### \*メーカーの無料進呈問題

同じメーカーの間でも営業担当者と販売促進担当者では全く別の人種のようなものである。販売促進担当のばらまいた後、その周辺ではどのような状況に成るかメーカーの人は考えてほしい。

新しい「JSR」ではこのような問題にも積極的に関わってゆきたいと思っています。しかし、このような問題だけでなく、小売業界の近い将来を見据えた上で必要と思われる政策にも積極的に対処してゆきたい。

\*「C-REX」によるデビットカードの扱い店となる。これは今年の3月からですので、添付の書類に早速申込願います。

### \*統一バーコード、POSレジ問題

これも、見える経営、利益の出る経営の為に推進して行きたい。

### \*サッカーくじの推進

全国的には2001年3月からですが、全国に先駆け静岡県はモデル地区として2000年11月より試験的にスタートします。正式申込を全国的に近々お受けする予定です。

以上のように、身近な問題から、将来を考えた問題まで積極的に対処してゆきたいと思っています。所属員の皆様からも、ご意見、ご提案を宜しくお願いします。



## 2000年の初夢

JSR顧問

安部 純平

### Y2K

今年の年末年始は実に賑やかでした。2000年という、ミレニアム（千年紀）の1月1日ということで、世界の主要な都市でのカウントダウンの風景や、2000年最初に生まれた赤ちゃんの撮影などが、茶の間でつぎつぎと紹介されて、眠る暇がない状態でありました。

その中でも、賑やかさという点については、コンピュータの2000年問題（Y2K）が圧巻でありました。

企業はもちろんのこと、私たちの家庭での対応まで、国を挙げてのPRでありました。

阪神大震災を知っている我が家も、食料はお節料理を少し多めにし、まさかの時には、食い延ばせば1週間ぐらいいは…を目途にし、主食を正月の小餅を多めに用意、停電の備えは、年寄り2人、安全を考えてローソクよりも懐中電灯と予備の電池を買い足しました。水は飲み水と洗いに分けて、洗いは、1999年の汚れを落とした後の浴槽に水を張って、元旦に最初に汲む水が若水ということから、この水は“年寄りの冷水”だと家内と冗談を言い合いながら用意を終わりました。

ほどなく1月1日午前0時、電気もガスも水道も異状なし、冷蔵庫もいつものように働いております。ホッとしました。

その後のニュースで、日本でも世界でも、大きな事故は起きていないと報道され、心の隅で大山鳴動して鼠一匹かという思いが無かったとは言えませんが、世界中が心配した2000年問題を無事に乗り越えて、当たり前が迎えられたことに一種の感動を覚えると同時に、「当たり前を維持するためには、物凄い人・物・金がいるものだ」としみじみ考えさせられました。

聞くところでは、2000年問題で世界では、おそらく6000億ドルが費やされただろうという試算が

あるそうであります。1ドル100円で試算しても60兆円であります。

文明が進めば進むほど、それを維持するために、とてつもないエネルギーを消費しなければならないということ、今回のY2Kは私たちに教えてくれたわけでありました。

### 2000年

2000年、それは20世紀最後の年であり、また21世紀へ続く年であります。

20世紀に人間は何をしてきたのかと、大上段に振りかぶった話は、今はさておき、私たち個人は、20世紀に何をしてきたのかという反省は、どうしても必要であります。

自分の主は、自分自身であります。私たちは各々に、自分の人生、自分の事業の主であります。良かれ悪しかれ、今現在のあなたの人生、あなたの事業は、すべてあなたの行動、あなたの考え方、あなた自身の心の在り方の結果であります。20世紀、何十年か掛けて造ったあなた自身の形なのであります。そのことをよく確かめ、自分が如何なる人間かを自覚したとき、あなたは21世紀に向かって、どのように歩くかを考える資格を持つことになると思います。自分自身についての自覚さえあれば、何が起ころうとも自分の道を切り拓いていけると思います。2000年とは、そういう2つの顔を持つ年であると思います。

### 初夢

初夢とくれば、一、富士、二、鷹、三、茄子と反応するのが私達世代の常識であります。2000年の初夢はジョッキングでした。

パソコンが普及して、商品の売買はインターネットで行われ、商店は閑古鳥が鳴いている夢です。

さてあなたなら、どう対応されますか。

自分自身についての自覚を持つあなたが、自分に最も適した対策を樹てられる筈であります。

## 第3回 理事会議事録

開催日時：平成11年12月9日（木）12:20～14:40  
開催場所：浅草橋5-8-6 東京スポーツ会館 4階  
理事総数：14人  
出席理事数：14人（本人出席）

定刻に、渡辺専務理事の司会で開会。

### [理事長挨拶]

JSR理事会の後、全運小連常務理事会を開催して、全運小連の解散について協議すること、法人化の経過報告、任意組合の法人化の動向等につき言及。

理事長が議長に就任して直ちに審議に入る。

### [審議事項]

#### ① JSR組合員名簿発行の件

渡辺専務理事より原案の説明がなされ、異議なく可決される。編集・資料の収集は総務委員会で担当する。年内に修正作業を完了し、2月の完成を目指すことになる。

#### ② 平成12年度全運小連の定時総会開催の件

日時 平成12年2月22日（火） 13時集合

時間 13時20分～13時50分の予定

場所 東京ビックサイト102号室

出席者 会長、副会長、理事長、副理事長、会計理事、常務理事、監事、各県理事長

### 審議事項

1. 平成11年度事業報告承認の件
2. 平成11年度決算報告並びに監査報告承認の件
3. 全運小連の資産処分の件
4. 全運小連の解散の件

#### ③ 第1回JSR全国理事長会開催の件

全運小連総会に引き続き開催することが決定される。

出席：正会員（協同組合） 36人

賛助会員（任意組合） 11人

特別参加：安部顧問、魚見顧問、橋本顧問、全運小連常務理事

### 議事

4委員会に分かれて委員会を開いた後、全体で事業計画の数量的目標を策定する。

総務・会員増強委員会（石井委員長）

JSEC・公正取引委員会（谷委員長）

国際・環境・広報委員会（小関委員長）

情報・活性化委員会（上田委員長）

#### ④ JSECの件

(a) 連合会議（JSRと関係小売組合との三者連絡会議）

日時 平成12年2月23日（水）

集合 午後12時00分

会議 午後12時30～15時30分

場所 東京ビックサイト610号室

(b) 国体・総体・全中大会のマニュアル作成の件  
谷委員長より提案がなされ、了承される。

(c) 理事会の議事運営規定作成の件

第1条より12条まで原案通り審議可決される。

### [協議事項]

#### ① 共同購買に関する事業（買い物袋）の件

総務委員会で担当する事になり、全組合員に採用して頂けるよう、素敵なショッピングバッグの考案を期待しましょう。

#### ② JSR第1回通常総会開催の件

期日 2000年9月26日（火） 27日（水）

主管 岩手県スポーツ用品専門店協同組合

岩手県の長谷川理事長との話し合いはまだですが、新しい法人団体としてのやり方をとの意見も出て、さらに次回に協議する事で了承。

#### ③ ブロック大会助成金について

既に10万円から30万円に増額が決定されているが、各ブロックの活性化資金として有効に使用されるよう要望され、支払いについては次回に協議

することになる。

## [報告事項]

### ① 理事長からの報告

- a. 第1期(平成11年度)賦課金徴収の件  
正会員及び賛助会員に11月17日に請求書を送付済みであり、12月末までに送金して欲しいと要望された。
- b. 10月22日に熊本国体視察及び打ち合せ会をなされたこと。
- c. 11月11日に北九州スポーツ用品協同組合の創立50周年式典並びに祝賀会が開催され、谷副理事長が出席なされた。
- d. ブロック総会の開催  
11月16日 近畿ブロック  
11月24日 九州ブロック
- e. 「JSRレポート」第10号発行の件  
11月25日に発行し全国に送付
- f. JSRのロゴ及びアイドリングストップのステッカーの作成配布の件  
JSRレポート第10号に同封して送付しました。
- g. 「協同組合連合会」設立は11月1日付で正式に認可された。
- h. 全国共通スポーツ券の株式  
全運小連が所持している74株は、中央会及び通産省よりの「投資に関する資産は所持出来ない」との指導に基づき、JSRの理事の皆さんにお願いして全て売却が完了しました。

### ② 各委員長からの報告

“委員会便り”にて紹介

### ③ 任意組合の法人化設立の件

鹿児島県 平成11年12月16日の予定  
高知県 平成12年1月27日の予定

## ★ 次回のJSR理事会の予定

平成12年1月25日 スポーツ会館

最後に、安部顧問より総評を頂き閉会。

## 総務・会員増強委員会



委員長 石井憲孝

私どもの委員会では、次の事を企画してJSRの発展の為に最善の努力を尽くす所存でございます。

1. 会員名簿の発行
2. 会員増強

数は力なりと申しますが、心して会員の増強にあたり、団結とコミュニケーションを保ち小売業界の発展に寄与出来ればこの上も無く幸いに存じます。

3. スポーツ振興くじ(サッカーくじ)

取扱店への参入が決まりました。2000年のワールドカップを控えて、私たち業界も活性化の為に非常に喜ばしい事でございます。

4. 買い物袋

全国共通の、環境にやさしいショッピングバッグを考案しますので、是非ご使用下さるようお願い致します。

5. スポーツ券

スポーツ券事業発足9年目に、65万枚に達しました。長引く不況の中、数少ない明るいニュースではないかと思えます。これも偏に組合員の皆様のご支援、ご協力の賜物と存じる次第でございます。

21世紀という新しい時代に向け、私どもは試行錯誤を繰り返しながら日々変革を重ね、スポーツによる新しい1年目を創って行かなければならないかと存じます。

微力な私ですので、どうぞお力添えの程宜しくお願い申し上げます。

## JSEC・公正取引委員会



委員長 谷 久人

### ○JSEC委員会

JSR・JSEC委員会は国体・高校総体・全中大会の担当各県においてJSEC及び各県との報告・連絡・相談等に積極的に関与し、よりよき運営がなされるよう努力して行きたい。

各大会の各県組合の取組における組織・運営方法について大阪・神奈川県より参考となるべきすばらしい報告をいただいています。昨年の熊本国体・岩手総体の報告をいただいた上、今後の関係各県の参考・指針となすべきマニュアルを作成したいと思っています。

### ○公正委員会

昨今はスポーツ業界における安売り・乱売・二重価格等はかなり抑制されてきたのではないかと思います。

組合員の皆様方からの報告・連絡があつて初めて動く事が出来ます。JSRの予算の中で一番大きな支出がなされているのが公取です。何事においてもこれは問題ではないかと思われる事があれば、各県・各ブロックで協議の上、事務局まで御連絡下さい。

## 国際・環境・広報委員会



委員長 小関和夫

去る11月9日に最初の委員会を開催し、次の事項を協議して理事会に答申しました。

### ① E-mail

NSGAより世界スポーツ用品小売業界の人名簿に記載する為のJSRのE-mailのアドレスを照会されたのに因み、国際化時代の今、我がJSRでもパソコンを導入し、積極的に対応できるようにすべきであること。

### ② アイドリング・ストップカード

12月に全員に配布させて頂きました。是非全国的なキャンペーン活動を宜しくお願い致します。

### ③ 容器包装リサイクル法の施行について

別紙にて詳細を説明いたします。

### ④ スポーツ用品業界に共通の看板を考案したらどうか？（例えば理髪店のようなどうか）

### ⑤ JSRレポートの発行は今後も年4回のペースを継続したい。

報告事項は以上ですが、当面する諸課題に積極的に挑戦してまいりますので、皆様のアドバイスを宜しくお願い申し上げます。

## 展示会へ行き、新しいスポーツを探しましょう。

下記の会場にて、JSRが各主催者とJTBのご協力を頂いて「デビットカード」、「サッカーくじ」の説明コーナーを開設致します。是非、お立ち寄りください。

### \* NAGOYAスポーツフェア

平成12年2月8日（火）・9日（水） 場所：吹上ホール

### \* スポーツビジネスフェア大阪

平成12年2月16日（水）・17日（木） 場所：インテックス大阪

### \* スポーツジャパン2000春

平成12年2月23日（水）～25日（金） 場所：東京ビッグサイト

### 情報・活性化委員会



委員長 上田善重

JSRが発足して早や6ヶ月がたってしまいました。役員一同が組合の基本理念を理解し、21世紀に向かって何をなすべきか、長期計画や又当面の課題として今何をなすべきなのか等を数回にわたって会合をもちました。そこで特に強調されたのが会員増強の問題でした。組合加盟店がわずか2100店に過ぎず加盟率は全体の26%であるため今後会員を増強して目標の50%を早く達成し、組織力を強化することで、業界内のJSRの発言力を高めることが出来る様になければなりません。その為にも魅力ある内容を持ち備えた組合組織にする必要があります。ブロック組織の強化では其の組織が魅力ある事業を企画し活動するならば、本部会計より予算を付けると云う画期的な案がまとまりました。又各県の協同組合の活性化についても県の中央会は組合に対して活発な活動をする様にと積極的な指導を行っております。一度中央会へ出向かわれてはいかがでしょうか。以上述べましたように組織の強化が基本であります。

情報、活性化委員会では中長期計画としてPOSレジスター導入を目指して全運団連やS研と数回に渡り会合をしており業界のスポンネット21、インターネット、POSレジ、が三昧一体となって稼働すれば素晴らしい効率のよい業界に変身すると思えます。サッカーくじは2001年からですので秋以降になってから活発に活動が始まります。当面の問題としてデビットカードの加盟契約と申込みの受付を1月に始めたいと計画しております。春になればイベント大会の開催を企画すべく考えております。まだまだいろいろな事をしたいのですが、余り急いでは企画だおれに成りかねませんので、足を地に着けて一步一步進んで行きたいと思っておりますのでよろしくご協力のほどお願い申し上げます。最後になりましたが何か良い企画や意見がございましたらお聞かせくださるよう重ねてお願い申し上げます。

### 九州ブロック



九州ブロック会長 石田輝義

長崎県運動具商組合理事長  
長崎市 石田スポーツ店社長

#### ① 構成

福岡県	106店	理事5名
佐賀県	16店	理事2名
長崎県	24店	理事2名
熊本県	36店	理事2名
鹿児島県	32店	理事2名
宮崎県	26店	理事2名
大分県	22店	理事2名
沖縄県		
計	262店	理事17名

#### ② 理事会

年5回開催し、各県個々の問題及びブロックの今後の活動方針等を協議している。

#### ③ 二層協議会

我々小売店が商品供給を受けているのは問屋さんであるという基本的な考えの下、九州ブロックは問屋さんと力強くしっかり手を結び、物事の解決に当たろうという事で、ブロック大会では二層協議会を開き諸問題を話し合っている。

#### ④ スローガン

昨年のブロック総会では、『見直そう、もう一度原点を』のスローガンの下に開催した。スポーツ業界の原点は何か。それは、「我々の先輩達が地域のスポーツ大会を応援しながら、スポーツ用品を販売してきたところに原点がある」と考えます。

#### ④ 大型店問題

最近この九州にも、大型店の進出が続いておりますが、大型店が大きな売場で価格破壊で売上が拡大したとしても、コップの水を他のコップに移すのと同じで、決して地域の消費拡大にはつながらない。時代の流れで大型店を拒否するものではないが、二層（特にメーカーさん）には、大型店にも小型店にも同じ土俵で商売をさせてもらいた

## デビットカード について

情報、活性化委員会委員長

上田善重

い。業界も本来のメーカー、卸、小売の流通の原点に立って適正価格で販売できるよう九州ブロックでは求めております。

### ⑤ 組合員の増強

二層に対して要望要求をするには数が必要であるという事で、新年度の事業計画では、組合員の増強を最重点項目とし、会員数を300店まで拡大しようと決意しています。

### ⑥ ソフトバレーボール大会

会員増強の一環として、九州ブロックで何かスポーツ大会を開催したいというのが数年来の懸案でしたが、その準備として、この2月に宮崎県都市で開かれる、ソフトバレーボール大会に各県の理事が視察に訪れ、今後の運営方法などの研究に着手する予定であります。ソフトバレーボールは老若男女を問わず誰でも出来るスポーツで、特に中高年の方々の健康維持や体力作りには最適ではないかと考えます。

### ⑦ 全国スポーツ券

スポーツ券の取り扱いについては、九州ブロックにおいては組合員のメリットとして非組合員への取り扱いはしないで欲しいと、当初から組合員全店が加入しておったが、現在はアウトサイダーでも販売されている事から、会員増強の意味からも原点に戻って、券を販売する店には取り次ぎをする卸・メーカーを通じて強力に組合加入の働き掛けをしてほしいと要求しております。

### ⑧ 法人化

九州ブロックでは、長崎県と鹿児島県の組合がまだ任意組合ですが、鹿児島県は昨年末に法人化の手続きが終わり、長崎県も一日も早く法人化すべく準備中であります。

我々小売店の原点は何といっても地域密着であると考えます。会員一人ひとりがこのことをよく理解して日々の営業活動をしていく事が最も大切な事ではないかと思えます。私は九州ブロックの会長として一番心強い事は、九州の各県組合員の方々の結束、協力の強さであります。今後とも、自立、共生のもとに組合員の皆様と共に活動して行きたいと思えます。

### (1)デビットカードとは

日本も21世紀を目前にしてキャッシュレス時代の到来を予感する動きが出て来ました。カードにはプリペイドカード、クレジットカード、キャッシュカード、電子マネーカード、等色々ありますが『デビットカード』とはキャッシュカードのことです。ATMで現金を引き出すカードとしてはかなり知られていますが、市場（買い物として）ではまだ実験段階で東京の一部や京都ではモニターとして一部使われておりましたが、いよいよ今年3月6日から全国の銀行、信用金庫、農協、郵便局等がデビットカードを発行して市場で決済出来るようになるのです。

#### <仕組み>

預金口座を開設しデビットカードを受け取ります。口座に残高がある限りカードは使え、買い物をする時の支払いをデビットカードでする時はC-REXにカードを通します。金額を店の人がインプットし確認してから、次に自分の暗証番号を4桁インプットすれば口座からその金額が引き落とされるのです。

### (2)JSRとデビットカードの関係について

この度JTBとJSRとがサッカーくじビジネスで、販売チャネル契約を結ぶことになりました。サッカーくじを販売する場合、スポーツ店はデビットカードだけで販売する方式で行うのが、間違いもなく金銭トラブルも起こらないであろう、との考えからJTBのC-REX事業部とJSRが加盟契約を結びます。デビットカードの端末機や設置の説明やお申込みについては近々に実行する予定をしております。話が前後しましたが、デビットカードの使用開始が今年3月からです。

### (3)加盟店のメリット

- ① 確実にそして効率的に代金の回収がはかれる。
- ② 現金のハンドリングコスト（集金、口座入金、釣銭準備など）を抑えることが出来る。
- ③ 決済方式の増加により、販売チャンスを増やすことが出来る。
- ④ 店の信頼度が上がる。
- ⑤ 日本中のほとんどすべての金融機関のキャッシュカードが使えるようになるのでクレジットカードに匹敵する利用率が予想される。
- ⑥ デビットカードが使えない店は顧客から選別される恐れがある。今後IT革命によって益々生活が便利になることは確かです。

JSRもインターネットやPOSの普及を促すために頑張りますのでご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

## 容器包装リサイクル法の完全施行について

毎年、大量に家庭から排出される一般廃棄物は、いわゆる『ごみ』問題として、大きな社会問題になっています。最終処分場の処理能力にも限界があると同時に、一般廃棄物の排出量の低減とリサイクルの推進を急がなければなりません。こうした状況から平成9年4月に施行されたのが容器包装リサイクル法です。一般廃棄物の減量化を図る上で最も有効なのは、まず廃棄物の発生をできるだけ抑える事です。廃棄物として排出されたものを『ごみ』にするのではなく、再利用できる資源とする事です。『容器包装リサイクル法』は、こうした考えを実践する為に制定されました。

この法律の4月よりの完全実施を前に、全運団連の宮地専務理事にその概要をお聞きしたのでお知らせします。

#### ① 対象品目

ガラス製の容器・ペットボトル・プラ

#### ② 手 段

容器や包装が、消費者に商品が渡る事によって、消費者からごみとして排出されるものについて、その容器や包装を商品に付加した事業者に対して、その処理費用を金銭で負担させる。

#### ③対象事業者

製造業・卸売業・小売業・サービス業  
販売店は、包装紙・紙袋

#### ④効 果

分別収集及び過剰な容器や包装の軽減、減量

#### ⑤原 則

1. 製造メーカーが製造した商品に対する容器や包装が、そのまま消費者の手に渡り、その容器が消費者の手によって廃棄される場合。
2. 販売店が販売した商品に施した容器や包装で、それが消費者の手によって廃棄される場合（メーカーから無償で提供を受けても対象となる）。

#### ⑥例 外

1. 小規模事業者：製造事業者の場合は、2億4千万円以下又は従業員20名以下  
卸・小売の場合は、売上高7千万円以下又は従業員5名以下
2. 材質：ガラス製の容器・ペットボトル・プラスチック・紙以外
3. 再商品化義務の対象外品目：段ボール・紙パック

#### ⑦今後の手続き

商工会議所に所属企業：

11月までに指定法人（(財)日本容器包装リサイクル協会）との委託契約書等の書類が届けられる。

商工会議所に非加盟企業：

企業の最寄りの商工会議所にて指定法人との委託契約締結の為の手続きを早急に行う必要がある。

# “店員の対応”

—あなたのお店は大丈夫(?)—

寒さに頬を赤くして帰った娘が、「本屋でさあ、…レジの店員たら、辞書買ったお客さんにも『カバーお付けしますかっ』で聞いてんだよ、ブーツ」と嘖き出した。

箸が転んでも笑う… かつて、わたしも母によく言われた。

「ママったら、聞いてんのっ！」 笑って弛んだ頬が、今度は怒って膨らんだ。

その大型書店は、いつもレジに行列ができ、店員はマニュアル化した対応の方が、効率が良いのだろう。だから、広辞苑のような分厚い辞書にもカバーなんて言うてしまうのだ。

「笑えないね、何だか…」

急にすぼめた彼女の口を見ながら、巨大化とともに商店はただ物を買う場所になったなあ、と思う。



イラスト・田中 朝

わが家族は、といっても三人だが、一応皆スキーをたしなむ。夫は近頃肥満でスイスイとは行かず、私は万年へっぴり腰。いまや娘が、ゲレンデを先陣を切って滑り降りる。

育ち盛りだから、ほぼ2年ごとにブーツを買って替えるので、安い方がいい。チラシを見て、街道筋の大型スポーツ店へ行ってみた。

「おーっ、いっぱいあるじゃん」

スポーツグッズのジャングルのような店内を見て、娘はハンターの目を光らせた。あらゆるメーカーの種類とサイズが揃っていて、とにかく安い。アルバイト店員がすぐ声をかけてきた。

「この娘の体力とレベルに合ったブーツ、どれかしら？」

「で、サイズと予算は？ブーツ単品より板とセットの方がお値打ちですよ。いま人気のメーカーはこれ」と、よどみなく答えてくれる店員との会話は、どうも噛み合わない。

スキーはスピードを楽しむスポーツだから、危険といつも隣り合わせだ。骨折などの怪我を負わないよう、適切な装備を選ぶ事の大切さは、へっぴり腰の私でも知っている。店員はセールスの教育は受けたようだが、スキーの知識に欠ける。

踏ん張る娘を店から押し出して、私たちは隣町のスポーツ専門店へ車を走らせた。ここのご主人は、日本最年長でエベレスト登頂を果たした人だから、店員は山好きばかりだ。

雪焼けした顔の店員は、やせっぽちの娘の顔を凝視して、しばらく考え込んでから、

「お嬢さんの体力と技術ならこれ」と2種類のブーツを棚から取り出した。ブーツを履く時のコツ、手入れの方法、チューンナップ…娘は驚きの表情のまま、プロのアドバイスを真剣に聞いていた。

こうした専門的知識や情報、きめ細かいサービスに対し、消費者として正当な代価を払う。目先の安さにとらわれないお金の使い方を、今更ながら教わった。

(1999年12月12日、中日新聞、日曜版コラムより。この記事は愛知県瀬戸市の加藤スポーツ様より頂きました。有り難うございました。ここに改めて感謝申し上げます。)

# 児童の労働搾取について

ヒーサー・ハイアム・ホワイト

訳：国際・環境・広報委員長 小 関 和 夫

昨年末、クリントン米国大統領がシアトルのWTOの会議で、児童労働協定に署名をした事が報じられた。(Daily Yomiuriの写真参照)そして氏は、「この協定は、今もって気の遠くなるような条件の下で強制労働をさせられている数千万人の児童にとっての勝利である」と述べられている。



児童の労働搾取禁止については、第1回世界会議のレポートで、NSGA（米国の組合）が理事会で決議したことをお知らせしましたが、この問題は裕福な暮らしに慣れきった私ども日本人には、いま一つぴんと来ないかも知れませんが、今でも地球上には貧困に苦しむ児童が6億人もおり、強制労働搾取にあっている児童が数千万人もいる事を考える時、世界の人と共生していくべきボーダーレスの時代を迎えようとしている今、対岸の火事として見逃す事はできません。そんな切実な思いから、1998年のクリスマスの日にワシントンポストの一面に報じられた、米国のヒーサー・ハイアム・ホワイト氏の記事を紹介したい。(紙面の都合で一部省略します)

1996年バージニアのメリモント大学でなされた

世論調査によると、米国人は人権を犠牲にすること無しに作られた商品には、もっと高いお金を払ってもよいと言っている。どんな買い物客でも知っているように、今商店で購入できる殆どの商品は、高級なブティックからチェーンストアに至るまで、米国本土以外で作られている。しかし、商品のラベルに、中国製あるいはフィリピン製、インド製と書いてある特殊なスキージャケットとか、子供のおもちゃとか、女性用のハンドバッグなどが、小売店の商品棚に並べられるまでのルートを考える時、しばしばガリバー旅行記を読む時のような複雑な、心を痛めるような感じがします。

たいていのマーチャンドライザーは、現在数百もの供給先を持っているので、実際あまり多いために、正確な供給チェーンのルートについての知識を殆ど持っていません。例えば、シューズ用のソールが中国製だとすると、靴紐は米国製で、アッパー部分は最終的に組み立てられるインド製だったりする。

最近このような分業化が、例えば、まだ17年という若いナイキのような会社が、製造会社の世界的なリーダーになることを可能にしている。今は、昔のように自分で製造設備を持たなくとも、製造会社と契約する事によって、仕事を創め拡大する事ができるのである。このシステムは、会社が生産国で起きる問題に対して、最小の責任を負うだけで最大の仕事をすることが可能なのである。

海外の製造会社は、米国の大企業に長期間納品させて貰えるようにと、しばしば自分のところの従業員を酷使せざるを得なくなるような取引条件を飲むのです。多くの生産国に於いては、賃金は

働き手（その大多数は婦人と若手女子）に生活費を払うよりは、外国の投資家をひきつけられるようにして決められている。

従業員の賃金条件にしても、もっと考えてくれるよう求める工場もあるが、殆どの工場では相手の言いなりになっているのである。

米国のこれらの多国籍企業では一定の行動基準を採用している。その基準は大変素晴らしい言葉で書かれているが、中間業者がその基準を履行することは到底出来ないような契約をしているのが実状である。会社は中間業者に言います。「どうぞ、賃金要求の為の組合を作ることを許しておあげなさいよ。しかし、私どもは、シャツ1枚の生産費として、87セントしかお支払いできませんけど…」この金額には、賃金、生地代、その他の経費込みなのです。

しかし、消費者の知識が高まるにつれて、どのように、どこで作られたかをはっきり知らせるほうが、ビジネスをうまくやって行けるといいう事が分かってきて、労働条件をモニターして情報として流す事が最低の条件であると考えようになってきている。この傾向を受けて、かなりの会社が、ホワイトハウスに特別調査団として、AIP（衣服産業組合）を結成して、不公正な労働慣行に抗議出来るようにとの希望を持って発足させています。

そのグループが最近出した労働基準は、米国の為に物品を製造する工場は、児童を強制労働させてはならないし、週労最大60時間を守る事、そして賃金は、地域の最低賃金か製造会社の一般賃金のどちらか高い方の賃金を支払う事等を制定した。不幸な事に、この動きは掛け声だけでまだ実施はされていないようである。

我々は世界のネットワークで、コーディネーターや工場の監視役を持つ事が出来、現在30ヶ国に調査を実施している。これらの工場の調査…サイパンからサルパドルに至るまで…米国の顧客規範を守るよう求めてはいるが、実際は守られてはいない。これを考えてください。1997年に我々が調査した中国で工場の労働者に支払われた平均賃金

は1時間30セント、最高の残業手当は丁度1時間4セントでした。

これらの結果にがっかりさせられたと同時に、このような問題を発見し、それに対応する事によって、たとえそのことが小さな事であっても、積極的な効果を得ることが出来た。いろんなアジアの国々において、消火器を備え付けさせ、その使用法を訓練させることが出来たし、他のところでは労働者が8時間立ち通しで働かされていたところに、丸椅子を備えさせもした。また、大変な問題…強制的な長時間労働…工場内に閉じ込められ、肉体的な過酷を強いられ、しかも1日数時間も支払無しのため働きをつきとめ、直させる事が出来た。工場毎に、作業者にヒアリングしたり、詳しい調査をする事で、必要な改善を実施させる事が出来た。

サイパンのある工場で作業者が、米国の連邦刑務所で許されているスペースよりもっと狭い部屋に住まいをしていたのを発見し、やがて作業者の為の住居を増築させる事が出来た。もうひとつインドで分かった事です、我々がインタビューした女子労働者が、朝食を摂らずに働きにきていた為に、昼前めまいを起こしていた事が分かったのです。単純な救済策として、朝のお茶の時間にスナックを出すようにしたので、この事が解決された事が、その後の調査で判ったのです。

AIP問題や、真の改革をもたらすためのモニターによる調査と、消費者に正しい情報を提供する為に個人のモニター会社がどんな調査をすべきかの規範を作らなければならない。しばしばこれらの工場が、サブの工場であり、労働者の実態についての監視も調査もなされていないのである。これらの工場では作業者にインタビューしたり、話を聞くことは実際むずかしいのです。しかし、これらの工場をつぶさに監視する事無しには、長時間労働とか、最低賃金等を監視する事は出来ない。労働者は、米国の製造業者に正しくレポートしてくれる、信頼できるモニターに接触することが必要なのである。

更に加えて、全体のプロセスは積極的なモニタ

一活動を必要とします。AIPの行動規範の下に、モニターによって、下請け工場の少なくとも10%は強制労働のない生産が保証される事が出来たのです。しかし全世界の製造業は更なる有意義な調査、理想的には75%の調査がなされる事が求められているのです。

世界的な生産の時代に於いては、マーチャンダイザーはどここの工場で、どんな条件の下で製造されているかについての責任を負うべきであり、このような情報を把握する事が正常なビジネスの一部であると考えべきなのです。

米国人は輸入品が、過酷な、不公正な労働の下に作られた商品を欲しいと思っていません。消費者はこの事を行動で示して行かなければならないが、労働搾取の習慣が、ある工場で行われていたそうだという過去の物語にしていけるのは、ただ会社の経営者だけなのです。

## 〈備考〉

1. AIPの16メンバーのうち、スポーツ用品のメーカーは、LL.BEAN、NIKE、REEBOKの3社である。

2. 1,000人のアンケートの結果

■ あなたは、搾取工場で作られた衣服を販売している小売店でショッピングするのを止めたいと思いますか？

79% そのような小売店からは買わない。

18% 買う。

3% わからない。あるいは、そんな質問には答えたくない。

■ 合法的な工場で作られた、20ドルの衣服を買うとしたら、もう1ドル余分に支払いしてもいい。

83% Yes

14% No

3% わからない。あるいは、そんな質問には答えたくない。



## Raise ye a flag on to Year of Dragon

Daily Yomiuri

### 編集後記

New Millennium 最初のレポートをお届け致します。

1. 理事長挨拶の中の“所属員”について

① 会 員：各県の組合を言う

② 所属員：会員に所属する組合員を言う

と、定款第1条にあるので確認させて頂きました。

2. 安部顧問に是非にとお願いし、ビジネスエッセイを連載して頂ける事になりました。氏の時代を読む鋭い眼識、そしてスポーツ業界への愛情あふれる名文、毎号の発行を待望したいものです。

3. 所属員の方からの投書「店員の対応」を頂きました。愛知県の加藤スポーツ様に重ねて御礼申し上げます。

4. 委員会便り、ブロック紹介の欄に、年末年始のお忙しい中を原稿を頂き有難うございました。

5. 年4回の発行を予定していますが、より楽しい、バラエティに富んだものに出来ますよう、皆様の積極的なご投書とアドバイスを宜しくお願い致します。

6. 上に掲示した、莊嚴に、天空高く舞い上がり、畏敬に充ちた神秘的な龍は、中国の12支の一つであり、新1000年期の最初の年を代表するものと言われています。事実、12支を表す動物の中で龍がミレニアムの第1年目に一致したという事は、今年はおめでたい事があるような前兆のような気がします。

天空に雄飛するこの龍のように、全所属員様の商売繁盛を謹んでご祈念申し上げますと共に、このレポートも是非あやかりたいものと念ずる次第です。

A happy new millennium year to all of you !

(KK)